

京都芸術センター

アーティスト・イン・レジデンス プログラム 2020

パフォーミング・アーツ部門

京都芸術センターのアーティスト・イン・レジデンスプログラムでは、異なる文化に触れることで新しい芸術表現を生み出そうとする新進のアーティストや芸術分野の研究者の滞在創作活動を支援します。参加者は京都芸術センターを拠点に、制作・調査・研究などに取り組みます。

本プログラムでは、パフォーミング・アーツとビジュアル・アーツの分野から参加者を隔年で募集します。2020年度はパフォーミング・アーツ分野が対象です。それぞれのジャンルの中で、あるいはジャンルを超えて、新しい表現を試み、市民に刺激を与える意欲的な芸術家を歓迎します。

1 応募資格

- ◎パフォーミング・アーツ(ダンス、演劇、音楽、その他)の分野で活躍する新進アーティスト又は研究者で、京都に滞在し、制作・調査研究などを行う理由が明確な方。※文学、クロス・ジャンルの方は毎年応募可
- ◎参加期間中、市民との交流事業を企画し実施できる方。
- ◎英語または日本語で意志の疎通ができる方。

2 支援内容

- ◎滞在期間中の宿泊場所を提供(原則3カ月以内)
- ◎京都芸術センターの制作室を提供
- ◎居住地から関西国際空港もしくは大阪国際空港までの往復航空券
- ◎制作費として、1件(個人・グループを問わず)につき、10万円(内税)の補助
- ◎広報協力
- ◎アートコーディネーターによるサポート

3 滞在期間

2020年4月1日(水)から2021年3月31日(水)間の3ヶ月以内

4 応募方法

活動計画書に必要な事項を日本語または英語で記入し、E-mail [residence@kac.or.jp] もしくは郵送でご応募ください。E-mailの場合は、件名を必ず「AIR2020応募」としてください。作品資料として、過去作品もしくは制作の様子がわかる画像または映像等のウェブリンク(ダウンロードリンクは不可。必ずオンライン上で参照できるものであること)を最大3件までお送りください。また、画像・映像ファイルを直接E-mailに添付しないでください。研究者の方は、必ず論文またはそれに準じるものを提出してください。

※郵送でのご応募の場合、応募資料は返却できません

※申請書はタイプもしくは明瞭な文字で記入のこと。記入事項に不備がある書類は審査の対象となりません

5 応募受付期間

**2019年4月1日(月)－6月30日(日) 日本時間23:59【必
着】**

※E-mail (residence@kac.or.jp)または郵送にてご応募ください。E-mailの場合は、件名を必ず「AIR2020応募」としてください

※期間外の応募は受け付けません

6 選考と結果

専門家で構成する選考委員会で決定し、応募者に通知します(2019年10月下旬予定)。なお、選考についての問合せは受け付けておりません。

7 注意事項

◎食費、アーティストフィー、その他生活にかかる諸費用は支給しません。

◎制作及び調査研究などに必要なものは各自で用意してください。

◎滞在制作終了後、レポートを提出していただきます。

◎家族、制作アシスタントなどの同伴者を伴う場合は、必ず事前にご相談ください。なお、支援内容はアーティストにのみ適用されます。

◎滞在期間中の事故・病気など、不測の事態が起こった場合、参加者の責任によるものとします。旅行保険への加入を推奨します。

8 応募・問合せ

京都芸術センター アーティスト・イン・レジデンス プログラム係

〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2

TEL:075-213-1000 FAX:075-213-1004

WEB: <http://www.kac.or.jp>

E-mail: residence@kac.or.jp

※受付時間: 午前 10:00-午後 8:00

(臨時休館日がある場合がございます)

京都芸術センター アーティスト・イン・レジデンス2020 活動計画書

応募者名(グループ名)

代表者氏名

生年月日

年

月

日

国籍

言語

現住所

TEL:

E-mail:

FAX:

Website:

活動経歴

参加希望人数

人

参加希望者全員の氏名(グループの場合)

ジャンル (ジャンルに○をつけて下さい。)

パフォーマンス・アーツ

ダンス / 演劇 / 音楽 / その他 ()

滞在を希望する期間

(自)

年/

月/

日 — (至)

年/

月/

日

① アーティスト・ステートメント(800 字以内)

② 制作・調査研究の概要(具体的に記入してください/ 800 字以内)

③ ②を京都で実施する理由(具体的に記入してください/ 600 字以内)

④ 滞在中に実施する市民との交流事業計画

(例: ワークショップ、レクチャー、オープンスタジオ等/ 400 字以内)

過去作品もしくは制作の様子がわかる動画または音源のウェブリンク (3 点以内)

※研究者は論文もしくはそれに準じるものを記載